

MamaCanのミッション

母親が子育てを通して幸せを感じ、自分らしいワークライフ・インテグレーションを歩みながら自己実現を目指すためのサポートと共に、子育てを身近に感じ、誰もが手を差し伸べることができる子育て環境の実現を目指します。



ご支援の
お願い

MamaCanは事業型NPO法人として、母親のサポートや社会とのつながりの場作りに力を入れています。一方で、ここ数年の子ども子育てを取り巻く孤立の実態や環境の悪化を鑑みて、子育て支援の非営利事業にも数多くチャレンジしています。「子育てを身近に感じ、誰もが手を差し伸べることができる社会」は、母親のマンパワーだけでは実現できません。子ども達の健やかな成長のために、皆さまのご支援をどうぞよろしくお願い致します。

寄附をする

千葉銀行 松戸支店 / 普通 4239901 / 口座名義：エヌピーオーハウジンママキャン
ゆうちょ銀行 普通記号 10500 / 番号 75101451 / 口座名義：トクヒママキャン

会員になる

正会員

【個人】入会金 1,000円 / 年会費 12,000円 【団体】入会金 2,000円 / 年会費 24,000円

サポーター会員

【個人】5,000円 / 1口～ 【団体】10,000円 / 1口～



NPO法人MamaCan
ママの想いを形に。

ママキャン 松戸

検索



〒271-0067
千葉県松戸市樋野口804-3 新渡辺マンション401
080-7025-1403 (平日10:00-15:00)
contact@mamacan-m.com
https://mamacan-m.com/



つながるLINE



NPO法人MamaCan

2024年度活動報告書

子育ては未来づくり 母親の挑戦が未来を変える



みんなの声を聞かせて！

ママパパアンケート2024

2024年度のママパパアンケートは、東葛地域で子育て中の652名の皆さんにご回答頂きました。この声はMamaCanの活動だけでなく、地域全体で子育て環境をよりよくするための貴重な声と受け止め、今後に活かしていきます。たくさんの方が、アンケートへ「声」を寄せてくださいました。ご協力、本当にありがとうございました！

回答数 **652**名

母親91%
父親9%

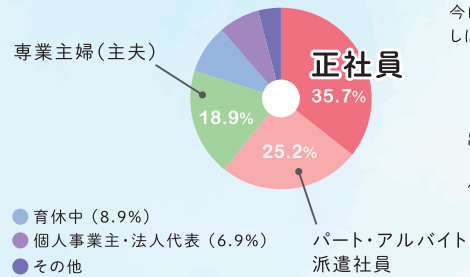
回答者の年代 … 20代 6% / 30代 43% / 40代 44% / 50代 7%

子どもの人数 … 1人 37% / 2人 46% / 3人 14% / 4人以上 3%

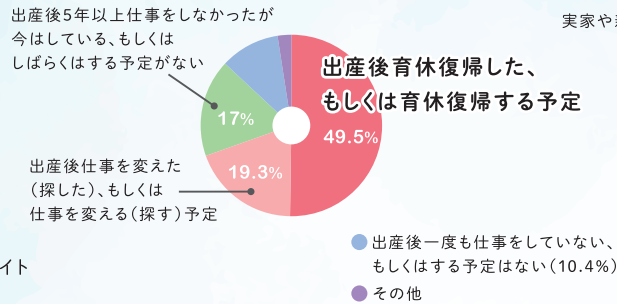
子どもの年齢 … 0-3歳 48% / 4-6歳 13% / 7-12歳 34% / 13歳以上 5%

住んでいる場所 … 松戸市 94% / その他 6%

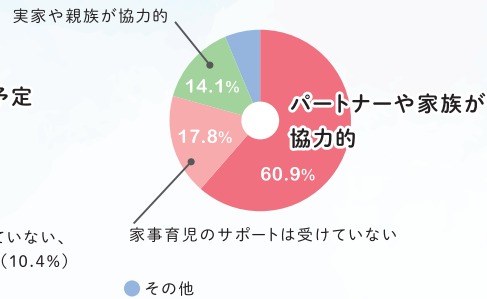
Q 現在のあなたのお仕事についてお聞かせください



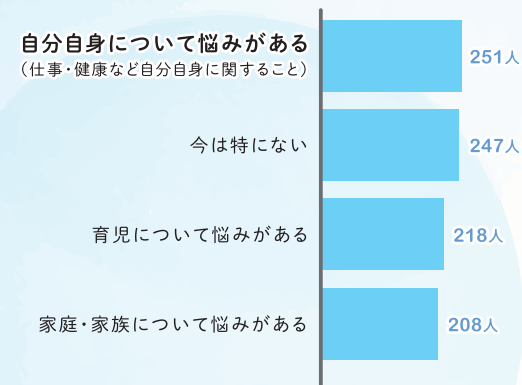
Q 出産後のママの働き方について教えてください



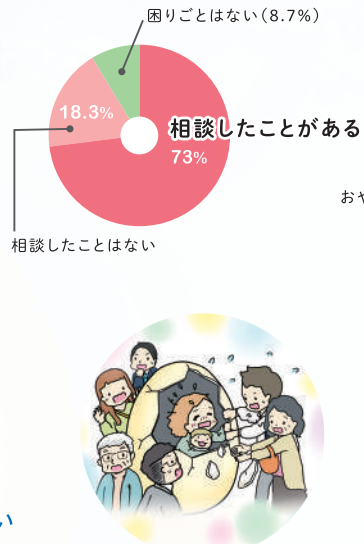
Q 現在の家事育児のサポートについて最も当てはまるものをお聞かせください



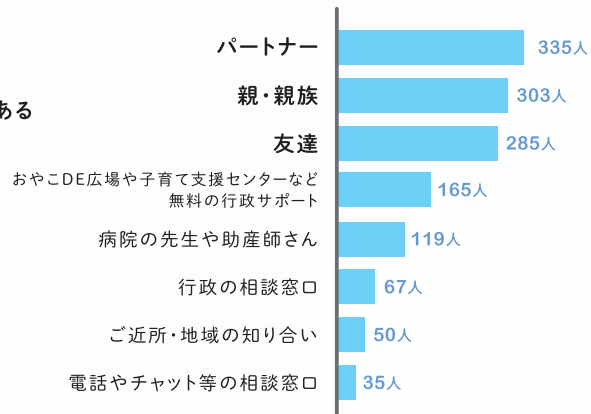
Q 育児・家庭・自分自身の困りごとはありますか
※複数回答可



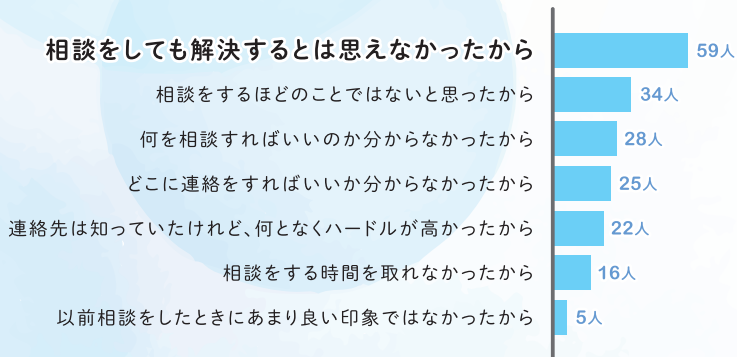
Q 今まで育児・家庭・自分自身の困りごとを誰か(どこか)に相談したことはありますか



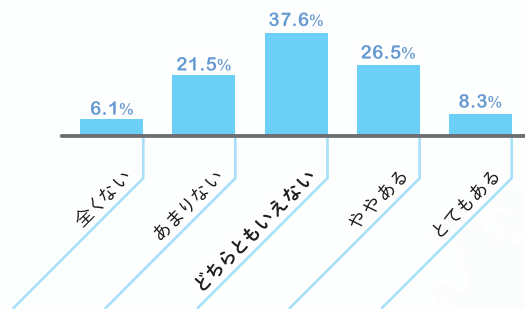
Q 誰に(どこに)相談したか教えてください※複数回答可



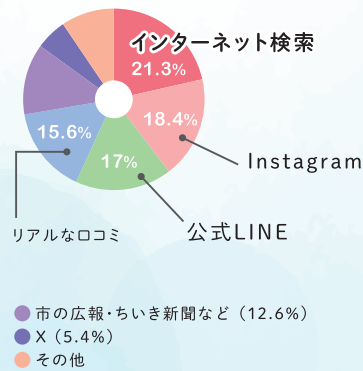
Q 相談をしなかった理由にあてはまる項目に全てチェックしてください
※複数回答可



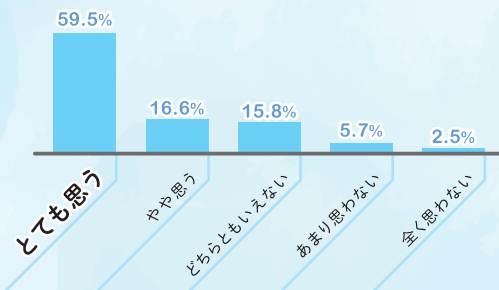
Q 子育てのストレスはありますか



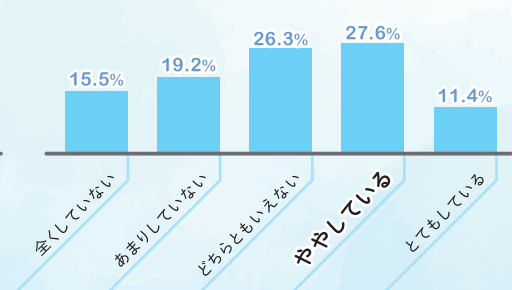
Q 子育て情報は何からとっていますか一番頻度が多い取得先を教えてください



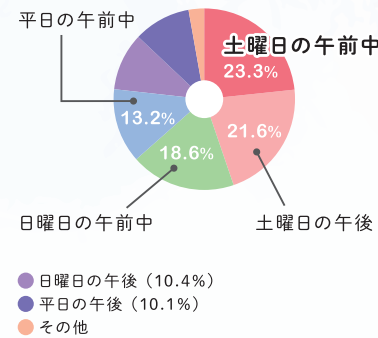
Q 自分ひとりの時間を持たたいと思いますか



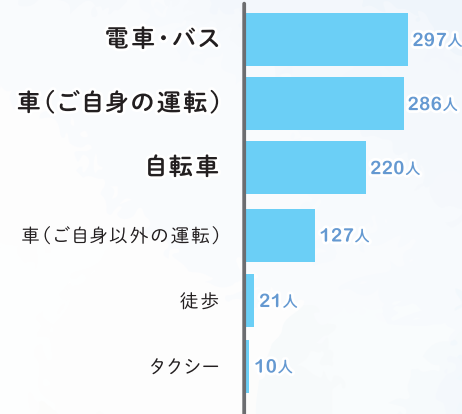
Q パートナーに遠慮することはありますか



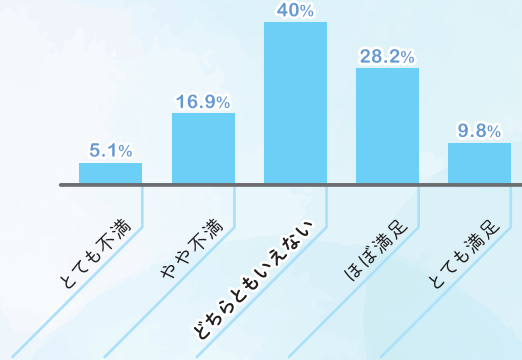
Q 親子向けイベントに参加しやすい曜日はいつですか



Q 主な移動手段を教えてください



Q お住まいの地域の子育て支援満足度を教えてください



お住まいの地域の子育て支援で改善してほしい、こんなサービスがほしい、困っていると思うことがあれば教えてください

子育てしやすい街と知って引っ越して来たのに、相談に行ってもどうすることも出来ないときや突然放され孤独でした。産休まで頑張ることが出来なかった私が悪いのですが、育休そして復帰の支援は充実しているのに、一度道を外れてしまうとこんなにも疎外されます。少子化になって保育園は入りやすくなるかもしれませんが、でも支援から外れて消えてしまうような人もいます。どうか後の人が苦しまないよう改善されていくことを願っています。/ 学童の質にばらつきがある。どの施設でも安心して預けられるようにしてほしい。/ 支援施設のイベントの情報をもっと分かりやすく一覧で見たい。/ 図書館が古くて利用しにくい。ヒガマツテラスのような施設が松戸にも欲しい。/ 双子だと通院や移動も大変。サポートが欲しい。/ 都内と比べて教育の内容が遅れている気がする。もっと充実させてほしい。/ 子どもが風邪をひくたびに仕事を休まざるを得ず、もっとサポートが欲しい。子どもの体調不良が理由で仕事を辞めたが、同じような人が少なからずいると思う。/ 通学路の整備を進めてほしい。歩道が狭くて危ないところがある。/ 給食無償化、病後児保育の拡充、地域公園の遊具の充実。/ 障がい児が通える教室に限られていて、放課後の居場所がない。今後は学童での受け入れや、放課後デイサービスとの連携をもっと強化してほしい。保育園のように一括して管理してくれる機関があれば、働く親は助かる。/ どこで子育て支援を受けられるのかわかりづらい。情報をまとめてほしい。/ 1歳くらいまでは近所のお母さん同士のつながり・顔見知りになれる場がほしかったです。ひろばでママ友作りって、なかなか難しかったので。/ ファミサボの手続きが煩雑で気軽に使えない。/ 保育園の一時預かりの予約が全然取れない。フルタイムじゃなくても一時保育を使いたい親はたくさんいるのに、働いていないと断られる。これでは就職活動もできない。/ 松戸駅周辺は小児科や遊び場が少なく子育てに向いていない。/ 都内のように高校まで完全無償にしてほしい。/ 生後4ヶ月〜6ヶ月の預け先が空白。制度でカバーしてほしい。/ 保育園や幼稚園の情報がわかりづらい。見学の一覧表や口コミが欲しい。/ 公園の遊具が古くて危ない。更新してほしい。/ 兄弟で年が離れていると多子世帯の恩恵が受けられず不公平。/ 一時保育の時間を4時間から6時間に延長してほしい予約が取りづらい。空いていても電話でしか確認できず不便。/ 不登校の子どもが行ける居場所がなく、支援が足りない。/ 未就園の子を2人自宅保育するのに、親の援助なしではきついと思う。もう少し行政からのサポートや、上の子の遊び場の環境が充実していたらと思う。

子育てしていて思うこと・感じることを自由にお聞かせください

夫と私だけで育てている感が強い。もっといろんな大人に介入してほしい。夫婦二人きりの時間がもてない。/ 健康児が産まれた。/ 育休が(厚労省の定める育休手当の制度上)原則1年しかとれないのがとても残念です。/ 注意する時に段々と強く言うんですが、何回も同じ事をされるとイライラしてしまう。10月から主人の仕事が変わってワンオペになるから物凄く不安。/ 母親の責任感、プレッシャーが大きい。そうさせている日本人の意識が変わって行くべき。/ 働いているママがほとんどなので、交流が難しく感じる。/ 私がイライラすることで悪影響になってて申し訳ない。/ 自由な一人の時間がほしい。月に一回でいいから1日フリーがほしい。相談できる人が、近くにいたらいいのに。/ 夫が子育てに関心があまりなく、母親がやるものと決めつけているところがあるので自分1人で頑張っている状態にあるので、ストレスをとても感じる。/ 中学の部活で親の支援が求められることが苦痛。/ 年齢が上がって行くからといって学校のイベントや家事育児がなくなるわけではないので、時短勤務がなくなるのが心配。/ 自分はダメな母親だな、と思うことがある。/ 忙しすぎる。/ 子ども可愛い、めんどくさい、いとし、大変、ずっと一緒にいたい、ひとりになりたい、の繰り返しです。/ 発達に不安を煽るような事が多い。/ 子どもが成長するに連れて難しく思う。/ 資金面、シングルや、親がいても共働きの場合、ケアも内容も、資金の支援も圧倒的に足りていない。あっても名目だけで使えないものばかり。何とかしてください本当に。/ 子ども達が小さい頃公営の乗り物は肩身が狭い思いをよくした。年配の方の暴言が多いように思う。/ 育児をしていると落ち込むこともあります。前向きに頑張っている子どもを見ると私も頑張ろうという気持ちになります。/ 子どもを育てるにあたり、多種多様な責任が大き過ぎるように思います。可愛い時期だと頭では理解していますが、人や社会に迷惑を掛けたくないということ優先してしまい、毎日怒ってばかりで自己嫌悪がありません。/ こんなに楽しいなんて想像以上日々成長も感じて幸せ。/ 子どもは本当に可愛いし大好きだが、たまに限界を感じる。/ 予想を超えることが起きて、自身の成長にもなる。/ めんどくさいことも手が掛かることもとても多いが、結局可愛さが上回るなと思う。そう思えるうちは大丈夫なのではないかと思っている。/ 子育てを通じて自分も成長できている。/ 長女が思春期でうまくコミュニケーションが取れない。長男は好き嫌いが多く体調を崩しがち。次男は嘘を覚え始めた。こんな子ども達の成長が楽しくて仕方がない。可愛くて仕方がない。/ 子どもと過ごす時間が尊く、愛しく感じると同時に、どうしてもなくイライラしたり、自分を抑えつけたりしないといけないこともあり、感情のコントロールが難しいと感じます。/ 子どもがいるから仕事をより頑張れていると感じる。/ 子どもも自分とは別人格なので、個人の特性と主張を大事にしたい。/ 子育てをしながら働くことの難しさ。/ 子育て中の親が安心して過ごせる場所があったら良い。乳幼児期に親が孤立化しない仕組みをみんなで作れたら良いと思う。困りごとは共通する部分もあるから。/ 思うように行かないことも多く、感情を抑えるのが大変。/ 一人になりたいと思ってしま自分が嫌になる。/ 子育てをしていると社会との繋がりが薄れているように感じてしまう。/ 体力的にも精神的にも追い詰められることがある。/ 子育てと仕事の両立が想像以上大変。/ 子どもの発達について周りや比べてしまい落ち込む。/ 夫があまり子育てに関わらず、一人で抱えている感じがする。/ 女性も仕事をする時代ですが、出産も子育ても求められて、つらいです。核家族化が進んで実家にもなかなか頼れません。/ 自分の時間がなく気持ちに余裕が持てない。/ 子育てに正解がなく、常に不安がつきまとう。/ 頑張っても報われないような気持ちになることがある。/ 子どものいる生活、Priceless!

2024年度 活動報告

居 場 所

リユースショップ くるりのうち



平日出店 3回/月 イベント出店 47回/年
参加者数 延べ 3,700名 マンスリーサポーター 51名

2024年度から、駄菓子屋カフェくるくるの子ども食堂「あおぞらごはん」を月1回開催。子どもは無料、大人は300円で提供し、普段は来たことがなかった方達に足を運んでもらうきっかけとなり、多くの方にくるくるを知ってもらえた。

また、くるくるの活動趣旨が記載されたタペストリーが完成。イベント出店の時などに、くるくるの趣旨を理解し応援の声をもらうことが増えた。関わるスタッフの声を聞きながら開催時間やメニューの改善をしていったが、スタッフ内の仕事の分担・分かりやすいマニュアルへの着手ができなかったことが課題。

2024年8月26日オープン
営業日：月～金 10:00 - 15:00
※2025年1月より休日オープンデーも実施
来店者数 延べ 1,100名

リユース子ども服をきっかけに地域のつながりを生み出すことを目的としてオープン。サイズアウトした子ども服、絵本、おもちゃの寄付を募り、1,000点以上の豊富な品揃えを実現した。また、子育て経験のあるママスタッフが常駐し、「赤ちゃんに何を着せたらいいかわからない」といった悩みに丁寧に対応することで、初めての来店でも気軽に相談できる雰囲気を作った。トライアルとして実施した休日オープンデーでは、家族連れや父親と子どもの来店が増え、新たなニーズを把握する貴重な機会となった。

／ スタッフのコメント ／

チラシやインスタ、Can-Dayを見て「ずっと気になっていてやっと来れました」と声をかけてもらうととても嬉しく思います。
子育ての話をしている時やお子さんと遊んだり抱っこさせてもらう時にくるりのうちスタッフとして癒されて幸せを感じています。



笹渕さん

イベント コーディネート

／ スタッフのコメント ／

赤ちゃんや元気いっぱいの子どもの笑顔はもちろん、ママさんやパパさんの子どもを見守る優しい目に触られて、私たちが癒され元気をもらっています。
皆さんの居心地の良い場所であり続けるために、ご意見を募集しています！
皆さんで作る素敵な居場所にしていけたらいいと思いますので、引き続き駄菓子屋カフェくるくるをよろしく願いいたします。



江島さん



／ スタッフのコメント ／

みんなで協力してひとつのイベントを作り上げるのは当日まで緊張感いっぱいですが、終わった後の達成感はひとしおです。
市や企業との協業イベントでは、地域で活躍する他団体さんとも関わりを持つことができ、たくさんの刺激をもらいます！



松本さん

商業施設イベント
ブラーレ松戸 / 5本 流山おおたかの森Flaps / 7本
テラスモール松戸 / 3本 その他 / 4本
地域イベント参加 7本

様々な場所からお声がけいただき、地域に根差したイベント作りができた。テラスモール松戸では、初めての挑戦としてステージイベントや2日間連続開催をやり切ることができた。

地域のお祭りでは、当事者だけでなくキャストやサポートスタッフ等運営側も「また参加したい」と思える雰囲気を作ることができ、地域とのつながりのきっかけになった。

MamaCanのイベントを通してどんな効果を生み出すことができ、また何ができるのか、何を大切にしたいかをあらためて模索していきながら、新たな場所でのつながりが作れるよう、働きかけていきたい。

つながり

プレゼント配付数 304件(5月15日現在)
配付会開催 6回
企業協賛数 8社 1団体



つながるLINE

相談回数 延べ 600件
相談者数 40名
相談内容 子育て・パートナー・就労・DV・生活・虐待・その他

年子の母親からは、ワンオペ育児に疲れてしまったという声や、二人目の出産後に上の子との関わりやパートナーとの関係がうまくいかないと感じるという相談が寄せられた。これらの相談は、ウェルカムベビープロジェクトの申し込みをきっかけに相談に至ったケースが多く、全相談件数の約半数を占めた。また、精神疾患を持つ方と関わるケースでは、行政機関や専門家と連携しながら対応を進めた。

14回/年開催
参加者数 延べ 347名

社会教育課との共催事業「小学校入学前講座」を今年度も実施。フリードリンクやお菓子の用意をしたところ、和やかな雰囲気に参加してもらえた。新たな試みとして、1日完結講座を2日間別の地域で開催した所、欠席者も少なく参加しやすかったようだが、講座時間が長かったこと、3講座それぞれがしっかり伝えたいことを伝えられなかった事が改善点だった。

受験前講座を自主事業として2日間別地域で実施。環境が違う先輩ママのリアルトークや、同じような悩みを抱えた保護者同士で交流できたことで、満足度が高かった。一方で広報の難しさを実感し、多くの方に情報が届けられる方法を模索したい。

聖徳大学のゼミ生と一緒に若者に対する講座やワークショップの組み立てについて考えることができた。実際に届けたい対象の方の声を聞くことによって進め方の大きなヒントとなった。

みなさんのお話を伺いながら自分はどうしたいのかな我が家の場合はどうかなと見つめて確かめることができたことがよかったです。どんな選択をしていくのかすこし楽しみになりました。(入学前講座受講者アンケートより抜粋)

ウェルカム ベビー プロジェクト

／ スタッフのコメント ／

地域のみなさんや企業さんの情報を赤ちゃんが生まれたご家庭にお届けできるように！想いを込めてファイルの制作をしました。配付イベントに会場したご家族の笑顔と出会うことが、やりがいにつながっています。



松本さん



ファミリー カレッジ

結婚など将来のことや、マイナスを考えておくといざそういうときに対応ができるのかなと思った。(大学ゼミ講座感想より)

グループワークでの話し合いは悩みを共有し心が軽くなった気がしました。(入学前講座受講者アンケートより抜粋)

働き方

お仕事フェスタ 2回/年
(松戸 120名参加・流山 70名参加)
おしごとカフェ 8回/年 126名参加

2024年度の松戸のお仕事フェスタは、商業施設(テラスモール松戸)で実施。

気軽に立ち寄れる環境から当日開催を知って参加する方も多く、120名にご来場頂いた。告知ではチラシのデザインの工夫やSNSを効果的に使い、集客に力を入れた。

初の流山市開催では現地の市民団体や幼稚園、キャストの手厚い協力により、新たな場所でもスムーズに実施することができた。どちらの開催もキッズスペースを用意しお子さまとの参加が可能で、預け先の相談から就労・起業相談、企業の面談ブース、ワークショップ等にワンストップで参加できる点に魅力を感じたという参加者の声が多かった。

おしごとカフェは、月1回各市民センターで実施。参加団体や企業と共に雰囲気作りを大切にすることで、後半の開催では参加者同志のつながりもでき、リピーターも増えた。

お仕事準備室

MamaCan パートナー

パートナー説明会 12回/年 参加者35名

2024年度よりMamaCanに関わるみなさんをMamaCanパートナーとし、説明会をおしごとカフェ内で実施。同じミッションに向かって活動を共にする「コーディネーター」が多数増え、それぞれの事業で個々のスキルを活かし活躍してくれた。

情報発信

育児情報誌 Can-Day

記念すべき20号は、各家庭での家庭経営が生活や仕事に直結するとわかっていてもなかなか相談できないお金のはなし。そして21号は、WAM事業の「パパの実態レポート」結果の掲載がメインとなった。

ライターとデザイナーが自主的に制作を進めたことで制作はスムーズに進んだが家庭との両立の中で作業が滞ることも多く、発行は期限ギリギリとなった。

また、協賛企業が増え、21号は広告とのバランスを鑑みて20ページとなった。今後はより多くの家庭に届けるために発行部数を増やす予定だが、制作費とのバランスが課題となっている。



vol.20
「家庭経営に大切な
お金のはなし」
全16ページ
広告掲載 4社



vol.21
「教えて！
イマドキのパパ事情」
全20ページ
広告掲載 5社

パパの実態 レポート

「今のパパ事情を教えてください2024」アンケート 実施
有効回答数 104名
パパへのヒアリング 実施 ヒアリング者数 3名
パパの座談会 実施 座談会参加者数 8名

多くの母親の声を聞いてきた中で、子育てや子どもの健全な育成には夫婦のパートナーシップが重要であること、その先に家事育児の分担など前向きな協力体制が図れることがわかってきた。より良い夫婦関係の構築のために、まずはパパの実態をリサーチすることを目的にアンケート・ヒアリング・座談会を行い、多くの気づきを得ることができた。

結果は「Can-Day21号」「WAM助成 孤育て家庭がどの段階からでも持続的につながる松戸版ネウボラ事業活動レポート」を参照。

スタッフのコメント /

共働き世帯が増えて、パパも育児・家事・仕事の3役を担わなければならない時代に移り変わってきています。パパも実は家事育児のノウハウはママ友から情報収集していることがほとんど…。パパ同士が家事・育児のことを互いに話せる機会が増えたとともにパパが育児・家事できる社会になるのかもしれないなあと思いました。



清水さん

MamaCanの事業に参画して



渡邊 倫子
お仕事準備室担当

MamaCanの活動に関わる中で、参加者のママたちの前向きなエネルギーはもちろん、「思いを届けたい」と奮闘する運営メンバーの姿にも大きな感動をもらいました。私自身も子育てをしながら働く中で、共感や「応援したい」という気持ちが自然とわいてきました。これからも、誰かの「やってみたい」という想いに寄り添いながら、そっと背中を押せるような関わりを続けていきたいです。



斉藤 絵美
リユースショップ
くるりのうち担当

リユースショップ「くるりのうち」のスタッフとして関わらせていただきました。リユース品の寄付・販売を行うだけでなく、「どこかに相談するほどではないけれど…」「少しだけこのモヤモヤを聞いてほしい」というような悩みを持つママ達に寄り添い、地域とつながるあたたかい居場所づくりを心がけました。リピーターの方に前回お話をされていたことについて「今はどうですか?」などとお声がけすると、「覚えていてくれたんですね!」ととても喜んでいただき、やりがいを感じました。今後も自分が子育てで乗り越えてきた様々な経験を活かし、来店されるママ達との丁寧なつながりづくりをしていきたいと思っています。



出雲 府実子
Can-Day
チラシデザイン担当

Can-Day14号からデザイナーとして制作に関わっています。制作終盤は毎号とても慌ただしく大変ですが、松戸のどこかでCan-Dayを手に取り読んでくれるママやパパを想像して佳境を乗り越えています。現在は商業施設でのイベントポスターやリーフレットなど、様々なお仕事の機会をいただいています。制作の際は、運営の方の想いのこもった素敵な企画がたくさんの人の目に届くように、そして実際に足を運び楽しんでいる親子の姿をイメージしながらデザインを心がけています。MamaCanのメンバーとして活動できることに感謝するとともに、今後は私はデザインを通じて「自己実現」を続けていきたいと思っています。

2025年度 活動計画



私のキャリアをデザインする

「キャリアのいっぽ」スタート!

2025年度より「お仕事準備室」と「ファミリーカレッジ」を併せてキャリアデザインとして活動を実施します。昨年まで実施のおしごとカフェでお仕事への不安、悩みを抱える多くの方に参加して頂きました。

今期は社会復帰をひかえている母親へ、キャリア継続の第一歩を体験するキャリア支援「キャリアのいっぽ」を開講します。

保育付きで全8回、各日定員30名で、同内容を3期まで実施予定。

母親としてだけでなく、自分自身のライフデザインを考えるきっかけを作ります。

Instagram



つながりを生み出す多機能な居場所

「リユースショップくるりのうち」

サイズアウトした子ども服を次の家庭へつなぐことで、ママやパパの思いを受け継ぎます。お預かりした子ども服・絵本・おもちゃはメンテナンス後、店頭に並びます。

また、お店の一面ではワークショップも開催し、親子で楽しめる企画を通じて地域のつながりを深めていきます。

ネットショップが
OPENしました!



STORES
(ストアーズ)



最新情報は
コチラから



産前産後のご家庭といち早くつながりをつくる

「ウェルカムベビープロジェクト」

「地域に誕生した赤ちゃんを、まち全体で祝福する」ことをコンセプトに、2020年にスタートしたプロジェクトです。地域の皆さんや企業・団体の方々の温かい想いが込められたプレゼントを、配付会、リユースショップ、キッチンカーなどで、500世帯に直接お届けします。赤ちゃんの誕生を祝うことが、地域の温かいつながりを育みます。

お問い合わせ

ウェルカムベビープロジェクト
パートナー企業募集中!



ここちよい子育ての一助に

「情報発信」

これまで以上にホームページ・SNS・育児情報誌を連動させながら、子育て家庭に有益な情報を提供していきます。ホームページはリニューアル予定! 育児情報誌『Can-Day』はより多くの家庭に届けたいという想いからリニューアルし、発行部数を増やす予定です。各事業のInstagramでは、最新の情報をいち早くお届けしています。ぜひ、フォローしてください!

Can-Day
バックナンバー



MamaCan
Instagram



つながる安心、子育てを孤立させない

「つながるLINE」

子育て・家庭・仕事に関する日々の悩みや困りごとの相談窓口です。必要に応じて、適切な支援機関や相談窓口へおつなぎします。また、定期的に地域のイベントや子育て情報をお届けします。

LINE相談対応時間

平日 10:00～17:00
夜間相談: 月・木・日 18:00～22:00



移動式子ども食堂

「あおぞらごはん」

駄菓子屋カフェくるくるの子ども食堂「あおぞらごはん」はだれでも利用可能! 月に1回、松戸市内で開催しています。くるくるでは、随時運転スタッフやボランティアを募集しています。私たちと一緒に子ども食堂や親子・子どもの居場所づくりに参加してみませんか?

駄菓子屋カフェくるくる
スタッフ募集

